

『VIEW next』高校版・2022年度「発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践」授業デザインシート

|          |                           |
|----------|---------------------------|
| 【教科・科目】  | 地理歴史・日本史                  |
| 【分野・単元】  | 幕府の衰退と近代への道               |
| 【テーマ・作品】 | 天保の改革                     |
| 【設定時数】   | 全7時間(今回の取材は4時間目の授業)       |
| 【単元の目標】  | 幕府の衰退の過程を理解し、その後の影響を考察する。 |

| 時数 | 学習内容          | 自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標<br>(身につけさせたい資質・能力)                                                                                                                                         | 左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類 | 授業の大まかな流れ                                                                                                                                                                                       | 授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮                                  |                                         |                                                                                      | 育成を目指す資質・能力の評価方法 |
|----|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
|    |               |                                                                                                                                                                                     |                       |                                                                                                                                                                                                 | 主体的な学び                                                        | 対話的な学び<br>(教師による場づくりへの配慮)               | 深い学び<br>(教師による思考の活性化・深化への配慮)                                                         |                  |
| 1  | 寛政の改革①        | ・飢饉により、主要都市部での打ちこわしが相次ぐ中で、当時の幕府がどのような対策をすべきかを考察する。<br>・天明の打ちこわしを機に田沼政権が倒れ、松平定信による改革が始まったことを理解する。<br>・松平定信の政策は、享保の改革を行った祖父である徳川吉宗の政策と似ており、幕府の財政を立て直すために農村復興を行ったり、都市政策を行ったりしたことを理解する。 | 知識・思考力・表現力・主体性        | ①前時の復習をノートを見ながら行う。(ペア)<br>②天明の飢饉により深刻な状況になっていることを理解し、人口が減少することで年貢納入が難しくなることに気づく。<br>③松平定信の祖父は徳川吉宗であることから、農業を重視した政策を行ったことを理解する。<br>④本時の振り返りを行う。(classi、ペア)                                       | ・松平定信は祖父である徳川吉宗を理想としていることを理解させ、享保の改革との繋がりを考察させる。              | ・ペアで話す時間を多く作り、必ずそれぞれの意見を伝えられる場を作る。      | ・享保の改革とのつながりを意識させることで、農村対策を行うことが必要不可欠であることを理解させ、現代の社会との違いに気づかせる。                     | ・classiでの振り返り    |
| 2  | 寛政の改革②        | ・幕府が財政難になるということは、旗本・御家人たちの生活も苦しくなっていることを理解する。<br>・当時辛辣な政治風刺の黄表紙や好色の洒落本が大流行していたことから、幕府が出版統制令を出し、取り締まったことを理解する。<br>・松平定信のような改革を現代で行った場合、どのようなメリット・デメリットがあるのかを考察する。                    | 知識・思考力・表現力・主体性        | ①前時の復習をノートを見ながら行う。(ペア)<br>②旗本・御家人対策として、棄捐令を出したことを理解し、幕府を批判させないために、思想・言論統制を行ったことを理解する。<br>③松平定信の政策を現代でおこなった場合、どのようなメリット、デメリットがあるかを考察し、そこから学ぶことを考察する。<br>④本時の振り返りを行う。(classi、ペア)                  | ・現代の社会で思想・言論統制が行われたらどう思うかを考察させる。                              | ・ペアで話す時間を多く作り、必ずそれぞれの意見を伝えられる場を作る。      | ・幕府を批判させないための言論・思想統制が返って人々に不満を持たせることになったことを理解させる。                                    | ・classiでの振り返り    |
| 3  | 鎖国の動揺と文化・文政時代 | ・ロシア船の接近に対して、幕府が海防の強化をいかに行ったかを理解させる。<br>・イギリス・アメリカ船の接近に対して、幕府が異国船打払令を出し、異国を追い払おうをしたことを理解させ、なぜ打ち払うことにしたのかを考察する。<br>・現代の日本の外交策との違いを考察する。                                              | 知識・思考力・表現力・主体性        | ①前時の復習をノートを見ながら行う。(ペア)<br>②ロシアが南下してきた理由を昨年度学んだ世界史の知識を活かして考察し、幕府が通商を拒否したことを理解する。<br>③イギリス船が長崎にやってきたことで、異国船打払令を出し、その後実行したことを理解し、現代の日本の外交と照らし合わせながら、当時の対応が正解だったのかを考察する。<br>④本時の振り返りを行う。(classi、ペア) | ・当時の世界と日本のつながりに興味・関心を持たせる。                                    | ・ペアで話す時間を多く作り、必ずそれぞれの意見を伝えられる場を作る。      | ・世界と日本との関わりから、当時の日本の対応が正解だったのかを考察させ、現代日本の外交政策との共通点・相違点を考察させる。                        | ・classiでの振り返り    |
| 4  | 天保の改革①        | ・どの時代でも改革がなぜ行われるのかを考察し、天保の飢饉による財政難、モリソン号事件による外交政策の失敗などから天保の改革が行われたことに気づく。<br>・享保の改革や寛政の改革と似ている部分があることに気づく。<br>・天保の改革で行われた俵約令や人返し法の政策を理解する。                                          | 知識・思考力・表現力・主体性        | ①前時の復習をノートを見ながら行う。(ペア)<br>②享保の改革、田沼政治、寛政の改革が行われた理由から、天保の改革を押し進めた水野忠邦が天保の飢饉の最中に老中になったことを理解し、改革を行わなければならなかった理由を考察する。<br>③天保の飢饉による財政難により、俵約令や農村対策が行われたことを理解する。<br>④本時の振り返りを行う。(classi、ペア)          | ・「何かに困っているから改革が行われる」ということに気づかせ、当時は何に対して誰が困っていたのかを自分の言葉で説明させる。 | ・ペアで話す時間を多く作り、必ずそれぞれの意見を伝えられる場を作る。      | ・改革が行われる理由を現代と照らし合わせながら話合わせ、当時の時代背景から必要な政策を考察させる。                                    | ・classiでの振り返り    |
| 5  | 天保の改革②        | ・物価上昇の原因は株仲間だと勘違いをしたことで、さらに混乱してしまったことを理解する。<br>・諸政策の失敗の結果、幕府権力の衰退につながったことを理解する。                                                                                                     | 知識・思考力・表現力・主体性        | ①前時の復習をノートを見ながら行う。(ペア)<br>②株仲間を公認、奨励した人物(改革、政治)を復習し、物価上昇の原因が株仲間にあると勘違いをして株仲間を解散させたことを理解する。<br>③アヘン戦争により、清が列強に分割されていくことを知り、異国船打払令を緩和するために天保の薪水給与令を出したことを理解する。<br>④本時の振り返りを行う。(classi、ペア)         | ・株仲間を公認、奨励した人物を思い出させ、幕府が株仲間に対してどのように関わっていたかを考察させる。            | ・ペアで話す時間を多く作り、必ずそれぞれの意見を伝えられる場を作る。      | ・アヘン戦争でイギリスに清が負けたことにより、日本はやつと世界における自分たちの立ち位置に気がついたことを理解させ、今後どのように外国と関わっていくべきかを考察させる。 | ・classiでの振り返り    |
| 6  | 江戸の改革のまとめ①    | ・江戸の三大改革や田沼政治を比較し、それぞれの共通点と相違点を考察する。<br>・当時の時代背景から、どのような対策を取るべきだったかを考察する。                                                                                                           | 思考力・表現力・主体性・協働性       | ①前時の復習をノートを見ながら行う。(ペア)<br>②三大改革や田沼政治の共通点と相違点を考察し、当時の時代背景からどの改革が良かったのかを考察する。<br>③グループで話し合い、発表する。<br>④本時の振り返りを行う。(classi、ペア)                                                                      | ・三大改革や田沼政治の振り返りを積極的に行わせ、自分の言葉で説明させる。                          | ・4人グループを作り、それぞれの意見を必ず伝えさせるために、順番に発表させる。 | ・それぞれの改革の良さを当時の時代背景を理解させたいうえで、考察させる。                                                 | ・classiでの振り返り    |
| 7  | 江戸の改革のまとめ②    | ・江戸の改革について理解し、どのような影響を与えたかを考察する。<br>・互いに話し合いながら、現代の社会に必要な要素を考察する。                                                                                                                   | 思考力・表現力・主体性・協働性       | ①前時の復習をプリントを見ながら行う。(ペア)<br>②現代の社会に必要な改革を考察し、グループで話し合う。<br>③グループでまとまった意見を発表する。<br>④本時の振り返りを行う。(classi、ペア)                                                                                        | ・自分が困っていることを自分の言葉で説明させる。                                      | ・4人グループを作り、それぞれの意見を必ず伝えさせるために、順番に発表させる。 | ・どの時代にも必ず困っている人がいるが、立場が違えば対策も変化することを理解させる。                                           | ・classiでの振り返り    |